

●●●組合員のみなさまへのお願い●●●

記録的な豪雨水害によって被災された方々と取引先・産直生産者の支援をグリーンコープは開始します。支援募金（カンパ）のご協力をお願いいたします。

グリーンコープ生活協同組合

2018年7月6日（金）から降り始めた記録的な豪雨水害は7月8日（日）現在、11府県で死者78名、行方不明者が少なくとも56名となりました。被害の詳細は、全容がまだ明らかになっていませんが、被災している多くの場所では懸命な救出作業が続けられています。

グリーンコープの取引先や生産者にも甚大な被害が発生しています。【裏面参照】グリーンコープでは7月7日（土）よりGCおかやま、GCひろしま、GCふくおかで支援活動を開始しました。具体的には組合員の安否確認や避難所にも訪問し、避難されている人数の把握や必要な支援物資の配達のためにヒヤリングを行い、グリーンコープで保管していた水やタオルなどの支援を開始しています。



岡山市東区南古都付近の様子

■GCおかやま・GCひろしまの支援活動の様子

- GCおかやまでは岡山市東区南古都の組合員に連絡が取れなかったため、安否確認に向かいました。この地域では4名の方が利用されていますが、その内の2名にお会いすることができました。床上浸水で掃除がとても大変な様子でした。片付けのお手伝いと気温が高いこともあり、必要な飲料水をお渡ししています。
- GCひろしまでは呉市天応南が断水しているという情報をボランティア団体から受けて、組合員ならびに地域の方たちに飲料水とタオルを配布しています。

— 救援金(カンパ)の受付要領 —

◆今週配布18号～OCR提出用紙へご記入ください。

- ・西日本豪雨水害支援募金（カンパ）200円 OCR番号
- ・西日本豪雨水害支援募金（カンパ）500円 OCR番号

- 1口200円のカンパと1口500円のカンパの2種類です。
- 4桁申込番号欄に申込番号と口数をご記入ください。

組合員のみなさまからの救援金(カンパ)は、グリーンコープが責任を持って取りまとめ、支援機関を通じて、被災地域の救援活動などに役立てられます。

●生産者、取引先の被害状況報告

■福岡県朝倉市 青果生産者（グリーンあさくら）

昨年（2017年）の豪雨で床上浸水し、畑にも大量の土砂が入った生産者ですが、今年も被害を受けています。ご自宅は床下浸水となり、畑は、栽培・収穫中の野菜が収穫できなくなっています。

昨年、青果生産者の会の呼びかけで土砂を取り除いた畑でしたが、また1m近くの冠水の被害をうけています。生産者の皆さんの精神的な面も心配です。

かぼちゃは、大雨の前に収穫できる分は収穫されていましたが、栽培中のものの収穫は、今後は期待できません。土砂やガレキもたくさん圃場に入ってしまった。復旧まで相当な時間がかかることが予想されます。

その他、収穫、出荷時期を迎えていた「小ねぎ」のハウスも冠水して出荷できなくなりました。



■長野県小布施市 青果生産者（信濃五岳会）

河川敷にあるネクタリンの圃場が冠水しました。収穫・出荷している時期です。果実に影響があるほどの冠水ではありませんが、畑に入ることができず、収穫ができなくなりました。降雨量が多くなっていますので、今後も病気の発生が心配されます。このまま、水が引かない場合は、全滅する可能性があります。



■福岡県久留米市 取引先（三桃食品株式会社）

しゅうまいや肉まんを製造いただいている取引先です。大雨により工場内が浸水してしまい、商品原料も浸水して使えなくなり、備品類も被害を受けました。商品製造ラインも浸水してしまったため、製造できるようになるには機械の調整や修理が必要な状況です。製造再開には数日かかる見通しです。



■福岡県久留米市 取引先（株式会社堀内）

洗いもずくやカットわかめなどを製造いただいている取引先です。工場内が浸水してしまい、商品製造ラインは故障して製造できません。冷蔵庫、冷凍庫も故障してしまい修理が必要な状況です。復旧までには相当な時間がかかる見込みです。

甚大な被害が発生しています。組合員の皆様のご協力をぜひお願いいたします。